

平成21年度 事業計画

重点課題

我が国は、世界同時不況の荒波を受けて深刻な経済状況に直面しており、四国でも景気後退が鮮明になっている。

これまでも四国は、人口流出や高齢化、財政の削減といった厳しい環境の中にあっただが、今回の経済危機は、これに追い討ちをかけるものである。

今まさに四国は、未曾有の危機を乗り越え、新しい時代をどう生き抜いてゆくかが問われている。

こうした認識から、今年度の重点課題を次のとおりとする。

- 1 . 世界規模の経済危機に対応するとともに、時代の潮目が変わりつつある中で、新しい経済社会を予測しつつ四国活性化への取り組みを進めてゆく。
- 2 . 今春から実施された高速道路・本四連絡橋通行料金の大幅引き下げは、四国の活性化にとって絶好のチャンスであると同時に、本四連絡橋料金の恒久的引き下げに繋げてゆくための試金石であり、この2年間で確実に経済効果があがるよう利用促進に取り組んでゆく。
- 3 . 新しい時代を切り拓いてゆくためには、四国が一つになった取り組みが不可欠であり、広域連携を一段と強化・推進する。

重点事業

1 四国の産業の新たな展望を切り拓く取り組み

世界同時不況の中で、四国経済も先行きが見通せない状況にあるが、四国のポテンシャルが劣化したわけではない。今、四国は、固有の資源・強みを磨き上げ、将来の飛躍に向けた礎を築くべき時にある。

そのためには、時代の潮流変化を見据えながら、産業の新たな展望を切り拓いてゆくことが欠かせない。このため、産学官連携等による新産業創出・企業競争力強化、四国の強みである一次産業の高付加価値化、成長するアジアへの市場拡大、将来の四国を支える人材の育成・定着などに取り組んでゆく。

2 高速道路・本四連絡橋通行料金引き下げのチャンスを活かした交流人口拡大策の推進

本四連絡橋の通行料金が、経済対策の一環として、全国的高速道路料金とともに2年間の期限付きながら、大幅に引き下げられた。これは四国の活性化にとって大きなチャンスであるが、同時に、四国が成果を問われる社会実験である。今回の引き下げによる経済効果が大きければ、恒久的引き下げに向けた合理的根拠を得ることになる。そうした強い目的意識のもと、四国を挙げて本四連絡橋の活用にも最大限の努力を傾注してゆかねばならない。

そのため、今年から来年にかけて相次いで放送される、四国ゆかりのテレビドラマ（「ウェルかめ」「坂の上の雲」「龍馬伝」）とも連携し、通行料金引き下げと一体となった四国PRの強化など、交流人口拡大策に取り組む。また、料金引き下げによる活性化効果を適宜調査・検証し、利用促進を啓蒙する。

3 四国の声を反映した道州制・四国州の実現に向けた取り組み

中央では、政府の道州制ビジョン懇談会をはじめ、道州制を巡る議論が今後さらに本格化・具体化することが予想される。

四経連は、四国の発展にとって望ましい道州制・四国州の実現を目指す観点から、平成21年3月に提言を取りまとめたが、今年度は、これを踏まえて中央での議論に積極的に参画し、四国の考えを主張してゆく。併せて、シンポジウムの開催や自治体との意見交換などを通じて、地域での議論喚起、議論の深化を図る。

4 4 県連携による「四国は一つ」の取り組み強化

四国がグローバル競争、地域間競争の時代を生き抜くには、4 県の持つ魅力・資源を組み合わせ、四国の課題を克服しつつ、総合力を発揮してゆく必要がある。

こうした中、今年度は、今後 10 年の四国づくりの指針となる、初めての四国圏広域地方計画が策定される。これは「四国は一つ」の地域づくりに向け、大きな弾みとなる計画である。四経連はこの策定に積極的に参画するとともに、計画に盛り込まれた広域プロジェクトの実現に取り組んでゆく。

また、4 県と民間が参画する新たな広域観光推進組織の設立を支援するとともに、4 県知事との意見交換や四国の魅力や課題を問い直す「四国学」の取り組みなど、四国一体となった地域づくりに向けた諸活動を推進してゆく。

5 四国の自立と競争力を支える社会基盤整備の推進

我が国が持続的に発展してゆくためには、各地方が生き生きとして自立する多極・自立型国土の構築が不可欠である。そのため四国においては、高速道路「四国 8 の字ネットワーク」の早期完成をはじめ、他地域との対等な競争条件の確保と地域の自立的発展、さらには安心安全な地域づくりのために欠かせない社会基盤は確実に整備してゆかねばならない。

四経連は、こうした四国の社会基盤整備の推進に向けて、国民理解の重要性も踏まえ高速道路など既存インフラの利用促進を図りつつ、国の果たすべき役割を強く主張し、引き続き官民一体となった取り組みを推進する。

事業活動

下線部は新規項目

1 . 四国の産業の新たな展望を切り拓く取り組み

(1)四国の地域特性を活かした産業活性化の推進

- ・新産業創出、企業競争力強化等に向けた産学官連携の推進（四国産学官連携推進会議、四国産学官ものづくり会合による産業クラスタープロジェクトの推進支援など）
- ・新産業の育成や既存産業の高度化に資するセミナー等の開催
- ・四国の強みである一次産業の新たな発展に向けた調査・提言

(2)四国自立のためのアジアとの交流連携の促進

- ・成長するアジアと共生する四国の発展方策の調査・提言
- ・四経連会員企業の海外事業所と連携した四国と東アジアとの交流拡大戦略の推進
- ・海外からの観光客誘致に向けた取り組み・支援

(3)次代を担う人材育成の支援

- ・四国の人材育成・定着に向けた大学等との連携
- ・学生に起業アイデアを募る「キャンパスベンチャーグランプリ四国」の開催
- ・青少年を対象とした科学体験行事への参加・支援

2 . 高速道路・本四連絡橋通行料金引き下げのチャンスを活かした交流人口拡大策の推進

(1)四国ゆかりのテレビドラマとの連携等による四国のPR強化、交流人口拡大策の推進

- ・ 四国ゆかりのNHKドラマを活かした各地域の取り組み支援
- ・ 四国遍路など独自の癒しの文化を尊重した地域づくりの推進
 - ・ 安全な遍路道の整備、望ましい道案内表示、遍路道周辺の景観形成に向けた取り組み
- ・ 歴史文化道事業の推進
 - ・ NHKドラマ「坂の上の雲」、「龍馬伝」と連携した歴史文化道のPR強化、四国各地の語り部との連携強化
- ・ スポーツ支援を通じた四国の新しい魅力づくりと交流人口の拡大
- ・ 団塊世代を中心とした大都市圏等からのロングステイ客の誘致
- ・ 観光振興を目指した「新四国創造フォーラム」の開催

(2)料金引き下げによる活性化効果の調査・検証

3 . 四国の声を反映した道州制・四国州の実現

- ・ 四経連提言（平成21年3月）等を踏まえた中央での道州制議論への参画
- ・ 地域での議論を喚起するシンポジウムの開催
- ・ 自治体との意見交換等による議論の深化

4 . 4県連携による「四国は一つ」の取り組み強化

(1)四国圏広域地方計画の策定と広域プロジェクト実現への取り組み

(2)新たな四国広域観光推進組織の設立支援

(3) 4県知事と四経連役員との意見交換

(4)「四国学」の推進

- ・ 四国8大学の四国学講座との連携
- ・ 四国の企業の産業観光資源に関する調査
- ・ 四国総合ホームページ「ウェルカム！四国」による四国の魅力情報の充実
- ・ 産学官による「四国水問題研究会」での調査検討 など

5 . 四国の自立と競争力を支える社会基盤整備の促進

(1)特に整備促進を図るべき社会基盤

高速道路等

- ・ 高速道路「四国8の字ネットワーク」の早期実現
- ・ 今治小松自動車道の未開通部分の完成
- ・ 地域高規格道路の整備
- ・ 慢性的渋滞を解消するバイパス等、重要性の高い一般国道、地方道の整備

本四連絡橋通行料金の恒久的引き下げ

鉄道

- ・ フリーゲージトレインの四国への導入
- ・ 在来線の高速化

国際交流・物流基盤

- ・ 多目的国際ターミナルなど国際物流機能の強化および港湾へのアクセス道路の整備
- ・ 国際定期航空路線および国内航空路線の拡充
- ・ 徳島飛行場の拡張

高度情報通信基盤

- ・ ブロードバンド環境の整備
- ・ 高度情報通信機能の利活用の推進

太平洋新国土軸構想

安全、安心な地域づくりのための基盤

- ・ 地震防災対策、安定した水供給の確保など、自然災害に強い地域づくりの推進
- ・ 高齢化時代に対応した生活環境の整備
- ・ 国土保全・農山村景観の保持

人を惹きつける魅力ある都市環境

- ・ 4県都など主要都市の機能強化
- ・ 魅力ある大学づくり

四国西南地域の発展ポテンシャルを高めるための基盤

- ・ 高速道路の延伸
- ・ 港湾の利活用、機能強化
- ・ 地元資源を活かした産業活性化や交流人口拡大への取り組み

(2)利用促進の取り組みと一体となった社会基盤整備の提言・要望活動

- ・明日の地域づくりを考える四国会議（四経連をはじめ四国の4経済団体で構成）
- ・四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会
- ・四国フリーゲージトレイン導入期成会
- ・太平洋新国土軸構想推進協議会、紀淡海峡交流会議、豊予海峡ルート推進協議会 など

6 . 海外経済視察団の派遣

- ・四国が新しい飛躍を目指す視点から、道州制や新産業創出、魅力ある地域づくりなどをテーマに海外視察を秋に実施

7 . 四国域外組織等との交流活動

- ・日本経団連との経済懇談会の開催
- ・西日本経済協議会、中四国サミットへの参画など近接ブロック圏域との連携
- ・全国で活躍する四国出身経営者との意見交換会の開催

8 . 景気動向等に関する調査

- ・「四経連景気動向調査」の実施
- ・「景気ウォッチャー調査」など受託調査の実施
- ・社会構造問題や地球環境問題など、我が国経済社会の課題に関する調査研究

9 . 会員サービスの充実および会員相互の交流

- ・会員ニーズの適切な把握による活動の実施
- ・タイムリーな講演会、視察会等の実施
- ・理事懇話会、四経連懇話会（高松市以外）、四国新年交流会の開催
- ・四経連会報による情報提供（毎月発行）
- ・四経連ホームページの充実 など

委員会・特別委員会の組織

以下の6部門の委員会と3部門の特別委員会を置く。

[委 員 会]

- ・ 国 際 化
- ・ 産 業
- ・ 観 光
- ・ 情 報 化
- ・ 資 源 ・ 環 境
- ・ 国 土 政 策

[特別委員会]

- ・ 四国西南開発
- ・ 社会構造問題
- ・ 地 方 分 権

以 上